笠南中だより

みどり市立笠懸南中学校
令和5年 9月12日 第７号
校 長 大 澤 智

２学期行事が本格的に動き出す

８月、９月では、１年生の榛名高原学校、みどり市英語弁論大会、避難訓練（不審者対策）などの行事が行われました。また、９月２７日に開催される体育際の選手決めも行われました。各クラスでは当日に向けて、学級旗づくりや競技種目の練習などに取り組んでいます。笠懸南中は、これから、ますます熱を帯びていきます。

１年生高原学校～「前力」で取り組む～

8月３１日、９月１日の1泊2日で１年生は高原学校にいってきました。２日間とも天気に恵まれ、全日程、計画通りに活動することができました。カッター訓練は、１日目から練習試合ができるほど、生徒たちはすばらしい動きを見せていました。また、高原学校の生活全般では、ほとんどの活動を「時間どおり」に行うことができました。１学年のスローガン「前力」（前向きに取り組む力、前に向かって進む力）を示すことができた２日間でした。

「市英語弁論大会」でも大活躍

９月7日（木）みどり市英語弁論大会が行われました。笠懸南中からは、３年野村悠人くん、２年峯岸花歩さんが本校代表として出場しました。野村くんは食物アレルギー、峯岸さんは医師不足とその解決策をテーマにスピーチしました。２人とも、きれいな発音でジェスチャーも交えながら自分の考えを英語で主張できました。結果、野村くんは２位、峯岸さんは３位と2人とも入賞しました。なお、野村くんは県大会出場となりました。

部活動について（１０月から２月まで朝練習可となります）

※朝練習は生徒と保護者・顧問等の話し合いや共通理解のもと希望者のみとし、顧問の指導のもと、放課後の練習時間を補うために、必要に応じて7時30分から３０分程度行うこととします。

※駅伝部は、熱中症予防対策として朝練習を実施しています。現在は１０月７日の市大会に向けてがんばっています。

子育ての知恵＜No.1＞～子育てに役立つ情報をお届けします～

子どもの声を聴く

子どもの声をよく聴くことは大切だと言われます。
忙しい毎日ですが、できる範囲で子どもの声に耳を傾けたいものです。
子どもは、自分の声を聞いてもらえることによって安心感を持ちます。
この安心感は子どもの心の安定を促します。
では、具体的には、どのようなことを心がけながら子どもの声を聴くとよいのでしょうか。
以下にポイントを紹介します。

①子どもの言ったことを繰り返す。　・・・（繰り返す）
②タイミングを見計らって要約する。　・・・（要約する）
③子どもの気持ちを汲む。　・・・（気持ちを汲む）

この３点を活用しながら共感的に理解することが大切と言われています。
この３点を活用すると、例えば、こんな会話をすることができます。

子：あ～、今日のスイミング行くの嫌だな。
親：今日のスイミングが嫌なのね。（繰り返す）
子：今日は厳しいコーチが担当なんだ。
親：厳しいコーチだから今日は嫌だと思っているのね。（要約する）
子：うん。僕、あのコーチ苦手なんだ。
親：苦手なコーチもいるよね。それは不安だね。（気持ちを汲む）
子：まあ、でも、僕より泳げない人もいるし・・・
親：そうなんだ。あなたより泳げない人もいるのね。（繰り返す）
子：うん。背泳ぎなんて僕、早い方だよ。
親：そうなんだ。がんばっているんだね。（気持ちを汲む）
子：じゃあ、行ってきます。
親：いってらっしゃい。

もちろん毎回、このようなコミュニケーションをすることは難しいと思います。
しかし、ここでは、子どもの声をしっかりと聴きたいな、というときには、この「繰り返し」「要約」「気持ちを汲む」を活用しながら子どもの声に耳を傾け、共感的に理解してあげるとよいでしょう。
このようなことを心がけることによって、子どもとのコミュニケーションを充実させていきましょう。

【参考文献】
水野　達朗　著　「ころんでも、立ち上がれる子はあなたが育てる」　牧歌社